

プログラム名 (40字以内)	地域探究プログラム ～地元高校生と能登半島地震からの復興政策・事業を立案せよ～		
団体名/所属	【本学学生】UTVC 東京大学復興ボランティア会議 (活動指導教員 法学政治学研究科 教授 米村滋人)		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動、 農林水産業などに関わる地域体験活動、 フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	6人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	探究学習の一環で能登の復興にかかわる政策・事業立案に取り組む七尾高校の生徒と伴走しながら、高校生の成長支援に主体的に取り組むことを求めます。また、政策や事業をつくる上での基本的な知識の講義や、問題解決プロセスのワークショップ等の機会提供を運営側から行いますので、それらへの意欲的な参加も期待します。		
活動期間	東京：8月上旬 現地：8/18(月)～8/23(土)	主な活動予定場所	石川県七尾市、県立七尾高校ほか 輪島市や珠洲市でのフィールドワークも適宜行います
プログラム実施の目的	【前 提】 (1)災害が発生すると、もともと存在していた社会課題が加速度的に進展し、大きな問題となるケースが多いです。実際、奥能登地域は震災を契機として人口流出が進み、過疎化や高齢化が取り沙汰されています。 (2)復興は一朝一夕で実現できるものではないため、未来を見据え、地域に貢献する人材を輩出し続けることができる、環境・仕組みづくりこそ重要です。 【目 的】 1. 地域の高校生に、普段かかわらない大学生との交流を届けて多様な選択肢を示し、将来の指針と出会う機会を提供する。 2. 探究活動を通して、基本的な知識や問題解決スキルを身につける機会を高校生、大学生それぞれに提供し、防災や地域活性化にかかわる人材育成の手法を体系化していく。結果、能登半島地震からの復興を推進する。 3. 東大生が地域課題が顕在化した現場に赴く中で、問題意識を先鋭化させ、普段の学習・研究にポジティブな影響を与えること。		
具体的な内容(800字程度)	<はじめに：UTVCについて> UTVC 東京大学復興ボランティア会議は、東日本大震災をきっかけに活動をはじめた学生団体で、10年以上、のべ1,000人以上の東大生を被災地に派遣してきました。 現在は、福島県相馬市寺子屋事業への東大生の派遣、被災地スタディツアーの企画・運営に従事しています。 <HOKUTOプロジェクトについて> 令和6年能登半島地震を契機に発足した、能登の復興支援に取り組む有志のプロジェクトです。石川県立七尾高校様と協力し、地域の高校生が「学びの主人公」として主体的に成長できるよう、【東大模擬授業】と【地域探求プログラム】の2つの活動を軸に展開しています。 「HOKUTO」という名前には、「等身大のロールモデルとして、地域の中高生にとって“北極星”のように進むべき道を示す存在(北斗七星)」でありたい」という想いと、七尾高校様の同窓会である「七星会」の名を重ねています。 <活動概要> 高校生とともに能登の復興を推進する事業や政策を考える過程で、 ・現場の抱える「どうしようもない現実」に対峙する ・高校生の学びのサポートをする <活動内容> @東京 ・8月上旬：問題解決や復興に関するインプット @現地 ・Day1 8/18：高校生とのチームビルディング＋能登や七尾についてインプット ・Day2 8/19：現地フィールドワーク・ボランティア活動① ・Day3 8/20：現地フィールドワーク・ボランティア活動②＋政策・事業づくり① ・Day4 8/21：政策・事業づくり②＋資料フィードバック ・Day5 8/22：政策・事業づくり③ ・Day6 8/23：政策・事業提案会＋懇親会		
【総額】参加するための費用	50,000円		
【内訳】参加するための費用 (宿泊費)	20,000円(1泊4,000円)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	30,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	食事代		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	探求活動を支援する財団に助成申請を行い、その支援金を学生に支給する予定です。詳細は、参加者決定後にご説明いたします。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://ut-vc.blogspot.com/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		